

第3回浜松市新公会計制度研究会 整理メモ

浜 松 市

1 確認事項

- 平成21年度から導入を予定している新システムにおいては、一つの入力作業により、発生主義・複式簿記及び現金主義・単式簿記に並列的に対応。
- 予算書・決算書、決算統計、バランスシート等の財務諸表は、基本的に一つのオリジナルデータから作成し、それぞれの整合性と正確性を図る。
- バランスシート等は基本的に開示資料であり、市が中長期的に持続可能な財政運営を行うために必要な内部管理資料としては情報が不足と認識。

2 公会計体系の整備と財政指標のあり方

- 小西座長提出の「会計体系の整備と財政指標のあり方」については、下記の事柄を踏まえ、今後市の財政運営に活用していく。

(留意事項)

- 財政の持続可能性を確保するため、フローの財政指標に加え、ストックの財政指標の必要性を認識し、新たな財政指標について財政計画への活用を念頭に継続して協議。また、市民にわかりやすい財政指標についても検討。
- システム改修前の平成17年度から平成20年度までのバランスシート等は、総務省研究会報告書、東京都等の整理及び本研究会での議論を踏まえるものとし、決算統計からのデータ及び整備状況に応じて公有財産台帳のデータを活用。
- バランスシート等に不足する内部管理資料としての財務情報は、決算統計による財政指標等を活用。また、決算統計に不足する資産と経常の区分等については、必要な作業に着手。
- 連結決算及び未確定債務の分析については、今後の会計基準とあわせて継続して協議。